

経歴と学恩をいただいた方々

藤村潤一郎

昭和四年三月一日 高知県高知市に生まれる。これは戸籍上で、実は大阪府豊中市生まれである。

昭和一六年三月 高知市立第一尋常小学校卒業。岡田巧先生のお世話になった。

昭和二〇年三月 私立土佐中学校卒業。青木勘先生（校長）、国見米太郎先生（漢文）、浜田麟一先生（歴史）にご指導いただいた。

昭和二五年三月（旧制）高知高等学校文科乙類卒業。井上増次郎先生（独語、西洋古典語）、高橋幸雄先生（独語、日本浪漫派）と佐藤和夫君（弁護士、小田原市）からご指導、教示をいただいた。大学進学に日本史を選んだのは森田鉄郎先生（西洋史）のご指導による事もある。

昭和二八年三月 東京大学文学部国史学科（旧制）卒業。

昭和三三年三月 東京大学文学部大学院（旧制）終了。

東京大学に入学した偶然が私に大きな影響を与えた。当時の研究室は坂本太郎教授（古代）、岩生成一教授（近世）、寶月圭吾助教授（中世）と児玉幸多講師（学習院大学）、佐藤進一講師（東京大学史料編纂所）で、共にご指導いただいたが、特に岩生、佐藤両先生から決定的な影響をうけた。岩生先生が「事実が押し来る」といわれたのを、温容と共に懐かしく想い出す。私は岩生先生に拾っていただいたのである。研究室では尾藤正英氏（東京大学）、金井圓氏（東京大学史料編纂所）、青木和夫氏（お茶の水女子大学）、石井進氏（東京大学）などのお世話になった。青木、石井両氏には人文学科創設期にご尽力をいただいた。

昭和二八年五月 文部省史料館に勤務。岡野澄氏（館長）、小和田武紀氏（同上）、安藤昇氏（三井銀行）のお世話になり、中井信彦先生（慶應義塾大学、三井文庫）に近世史の手解きをしていただいた。

昭和四七年五月 国文学研究資料館史料館に勤務、助教授、教授を経て名誉教授。市古貞次先生（資料館長）、本田康雄氏（名誉教授）、永田治樹氏（筑波大学）、加藤定彦氏（立教大学）、宮崎修多氏（成城大学）から国文学、書誌学、図書館学について教えていただいた。

文部省史料館、国文学研究資料館両時期を通して、古文書の所蔵、旧蔵者である依田泰八氏（山梨県山梨市）、井尻源氏（同上）、木村一郎氏（茨城県龍ヶ崎市）各ご夫妻などからご好意をいただいた。なお木村家

に私の文書借用書が残っているが、これは木村氏が所在を失念したためで文書は全部返却した。また黒羽兵治郎先生（大阪府立大学、大阪経済大学日本経済史研究所、大阪市史編纂所）、新城常三先生（九州大学、成城大学）、秀村選三先生（九州大学）、直江廣治先生（筑波大学）、伊東弥之助氏（慶應義塾図書館）、白石克氏（同上）、岩崎友吉氏（東京国立文化財研究所）、林基先生（専修大学）、新保博先生（神戸大学）、橋本輝夫氏（通信総合博物館）、遠藤諦之輔氏を始めとする宮内庁書祿部の方々（順不同）などにご指導いただいたし、各地の文書収蔵機関、同関係者にお世話になったが、実に多くの方々に列挙しきれない、失礼の段ご容赦いただきたい。

昭和六三年四月 創価大学文学部教授。特任教授、現在に至る。

創価大学ではご退職の方に限らせていただくが、高松和男先生（学長）、梅村又次先生（日本経済史）、森岡敬一郎先生（西洋史）から学ばせていただいた。私の在学当時、国史学科には近代史の講座がなかったので、梅村先生に近代史などの手解きをしていただいた。

この間、上智大学、東海大学に出講した。

業績

文部省史料館、国文学研究資料館時代には近世文書の整理、目録、史料集刊行等に従事し、甲斐国山梨郡

下井尻村依田家文書を中心とする農村史と、近世飛脚について発表した。

創価大学着任後は次の通りである。

農家文書の目録編成 国文学研究資料館史料館編「史料の整理と管理」 昭和六三年五月

横浜における飛脚屋と郵便役所 創価大学人文論集創刊号 平成元年三月

坂本太郎先生 「坂本太郎著作集」八巻付録 平成元年四月

文書はどのように運ばれたか―飛脚屋の仕事 週刊朝日百科日本の歴史別冊通巻七二三号 平成元年九月

紀州七里飛脚について 創価大学人文論集二号 平成二年三月

飛脚―手紙から参勤交代まで ちれきてる三七号 平成二年春

古文書のこと フォーラム人文一号 平成二年七月

長崎行・西国筋飛脚と長崎迄郵便の道中筋について 「創立20周年記念論文集」 平成二年十一月

子供のあそび 学光一五巻一〇号 平成三年一月

翻刻・村井弥兵衛「従文化至天保記録―京屋甲府店史料―」 創価大学人文論集三号 平成三年三月

閲覧についての雑談 フォーラム人文二号 平成三年四月

矢代和也君 矢代和也著「中世史研究と歴史教育論―遺稿と追悼―」 平成三年五月

草津宿追分見付の道標金石文 季報みちしるべ四七号 平成三年九月

通信 「ヴィジュアル百科江戸事情」二巻 平成四年一月

天明七年御買上米一件と飛脚問屋 創価大学人文論集四号 平成四年三月

情報伝達者・飛脚の活動 丸山雍成編「日本の近世」6 平成四年五月

通信と飛脚 児玉幸多編「日本交通史」 平成四年一月

箱館における定飛脚問屋島屋 交通史研究二九号 平成五年一月

一つの手毬唄 学光一七卷一二号 平成五年三月

翻刻飛脚関係摺物史料(三) 創価大学人文論集五号 平成五年三月

紀州七里加納啓三郎「御用留」について 藤野保先生還曆記念会編「近世日本の社会と流通」 平成五年一月

下村富士男先生のこと 南溟二二号 平成五年二月

三人三様―幕末の若者― フォーラム人文五号 平成六年一月

翻刻飛脚関係摺物史料(四) 創価大学人文論集五号 平成六年三月

近世甲府飛脚問屋京屋と為登系 山本弘文編「近代交通史成立史の研究」 平成六年六月

津田さん夫妻の想い出 津田秀夫先生を偲ぶ会編「津田秀夫先生を偲ぶ(二)」 平成六年一月

大塩一件と飛脚問屋 大塩研究三五号 平成六年一月

二宮尊徳 学光一九卷一二号 平成七年三月

天明二年「三春行楽記」前後——土山宗次郎と朝田伴七を中心に——創価大学人文論集七号 平成七年三月

解題、校註幸田成友著「江戸と大阪」 富山房百科文庫四八 平成七年七月

文政、天保期の定飛脚問屋島屋について「創立25周年記念論文集」 平成七年十二月

ツェンベリーと桂川甫周、中川淳庵 教材解説経済学 平成八年三月

古島敏雄先生の想い出「わたしたちに刻まれた歴史——追想の古島敏雄、百合子先生——」 平成八年八月

黒羽兵治郎先生の想い出「行雲流水 黒羽先生ご夫妻の想い出」 平成八年九月

天明二年「三春行楽記」前後(一)——土山宗次郎と朝田伴七を中心に——創価大学人文論集九号 平成九年三月

古文書学の講義など Soka University News 一三三号 平成九年四月

天明二年「三春行楽記」前後(三)——土山宗次郎と朝田伴七を中心に——創価大学人文論集一〇号 平成一〇年三月

横井也也「鳥獣魚虫の掟」 創価大学人文論集一一号 平成一一年三月

天明二年「三春行楽記」前後(四)——土山宗次郎と朝田伴七を中心に——創価大学人文論集一二号 平成一二年三月

翻刻飛脚関係摺物史料(五) 創価大学人文論集一二号 平成一二年三月

天明二年「三春行楽記」前後(五)——土山宗次郎と朝田伴七を中心に——創価大学人文論集一三三号 平成一三年三月

天保九年巡見使土屋市佐衛門について(再録) 国史大系編修会編「新訂増補国史大系月報付異本公卿補任」平成一三年

五月

天明二年「三春行楽記」前後(六)——土山宗次郎と朝田伴七を中心に——創価大学人文論集一四四号 平成一四年三月

天明二年「三春行楽記」前後(七)——土山宗次郎と朝田伴七を中心に——創価大学人文論集一五五号 平成一五年三月

江戸三度飛脚問屋江戸屋飯塚家の系図、過去帳について 大阪商業大学商業史博物館紀要四号 平成一五年一月

天明二年「三春行楽記」前後(八)——土山宗次郎と朝田伴七を中心に——創価大学人文論集一六六号 平成一六年三月